風評被害対策、災害復旧事業費など一般会計補正予算(第3号)で5億6381万6千円を追加

報告3件、議案9件、諮問2件を審議

能登町議会第2回定例会が、6月8日に招集されました。会期を15日までの8日間と定め、平成18年度一般会計繰越明許費繰越計算書など報告3件、平成19年度各会計補正予算など議案6件、人権擁護委員の候補者の推薦についての諮問2件が上程されました。固定資産評価員の選任について同意し、人権擁護委員については適任とすることに決定、その他の議案については、各常任委員会に付託されました。

最終日の採決では、報告3件、議案5件、陳情1件が原案のとおり可決されました。引き続き、請負契約に関する追加議案3件が上程され、原案のとおり可決されました。

【承認された報告：3件】

平成18年度一般会計繰越明許費繰越計算書について▼繰越事業費の確定に係る報告

平成18年度有線放送事業特別会計繰越明許費繰越計算書について

平成18年度介護保険特別会計繰越明許費繰越計算書について

【可決された議案：8件】

平成19年度一般会計補正予算（第3号）▼歳入歳出それぞれ5億6381万6千円を追加し、総額を140億9331万6千円とする。主な内容は、地震関連費用として衛生費、商工費、災害復旧費の追加など

平成19年度国民健康保険特別会計補正予算（第1号）▼保険事業勘定に300万円を追加し、総額を31億6161万8千円とする。主な内容は、地震に係る公立宇出津総合病院の修繕費

平成19年度老人保健特別会計補正予算（第1号）▼歳入歳出に1664万5千円を追加し、総額を34億9124万円とする。主な内容は、診療報酬審査支払基金等の返納金

平成19年度農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）▼歳入歳出140万円を追加し、予算総額を2億9798万2千円とする。主な内容は地震による災害復旧費

平成19年度能登町病院事業会計補正予算（第1号）▼地震による災害復旧費を300万円追加

請負契約の締結について（平成19年度能登町特定環境保全公共下水道事業（松波処理区）処理場土木建築工事）

請負契約の締結について（平成19年度南部配水池改修工事（土木・建築））

請負契約の締結について（平成19年度南部配水池改修工事（機械電気設備））

【同意された議案：1件】

能登町固定資産評価員の選任について▼元谷猛税務課長を選任することに同意

【適任とされた諮問：2件】

人権擁護委員候補者の推薦について▼金七えり子さん（松波）を適任とする

人権擁護委員候補者の推薦について▼仲谷 章さん（天坂）を適任とする

【採択された陳情：1件】

公共下水道新設について▼鵜川地区の公共下水道新設工事の着手について配慮してほしい（提出者：鵜川地区区長会代表 渕崎昭平）

1,101件の義援金 ありがとうございました。

能登半島地震の被害に対して、全国のみなさんから心温まる義援金をいただきました。6月8日現在で届けられた1,101件（企業・団体144件、個人957件、総額約2,500万円）のうち、企業・団体名を紹介します。なお、個人の方については、個人情報保護のため公表を控えさせていただきます。

28同期会役員会、anpn相模原清新店、MOAｲﾝﾀｰﾅｼｮﾅﾙ、NPO法人日本ﾎﾘｽﾃｨｯｸﾚｲｷ協会、NTT労推退職者の会栃木県支部協議会、ZEN㈱、ｱｰﾊﾞﾝ東港㈱、㈱ｱｽｺﾑ、㈲有田、阿武松部屋、石川県市町村職員共済組合、石川県ｼﾆｱﾃﾆｽ連盟会員一同、石川県町村議会議長会、石川県町長会、石川県立小中学校教頭会、㈱石川ｺﾝﾋﾟｭｰﾀｾﾝﾀｰ、石川ﾘｺｰ㈱、㈲和泉屋、いずみ寮、伊部病院、上津深江区民、鵜川婦人会、内浦ﾛｰﾀﾘｰｸﾗﾌﾞ、狼沢隣祐会、大阪ｺｳｾｲｼﾝﾖｳ、大阪難波ﾛｰﾀﾘｰｸﾗﾌﾞ、大月ｷﾘｽﾄの教会、大藪郵便局、岡崎ﾓﾗﾛｼﾞｰ事務所女性部、㈱柿本商会、金沢市町会連合会、㈱ﾄﾞﾗｯｸ、神野小学校閉校式実行委員会、ｶﾜｻｷ杯実行委員会、北川鉄工所、北組地蔵、鬼怒川温泉郵便局、岐阜信用金庫（募金箱）、岐阜友の会友愛部、気ままなﾊﾟﾝ屋窯蔵、金光京宇部協会、ｸﾒｶﾞﾜｼｮｳﾃﾝｶﾞｲ、㈱ｸﾞﾗﾝﾍﾞｰﾙ（能登ごいた保存会東京支部）、㈱ｸﾘｽﾀﾙ、栗林医院、ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑなかよし、ｹｱﾊｳｽあさひ鰍桜苑、ｹﾞﾙﾀﾞﾄﾞｲﾂ語教室、興能信用金庫、交野ﾎﾞﾗﾝﾃｱｸﾞﾙｰﾌﾟ連絡会、神戸村野工業高等学校、㈳国民宿舎協会、㈱小島商会、㈱近藤鉄工所、埼玉県鴻巣市立箕田小学校、崎山３丁目町内会、笹塚駅前郵便局、㈱ｻﾝﾕｰ印刷、指宿ひまわり会、柴崎郵便局一同、㈲柴山設備、首都圏能登町会、白岡ﾀｸｼｰ㈱、白子町議会議員一同、白子町役場職員一同、城山住宅納税組合、真言宗御室派青年教師会、ｽｰﾊﾟｰﾈｯﾄﾜｰｸ外１、ｽﾊﾟｰ択北店、ｽﾘｰｴﾌ川崎南町店、正文寺檀信徒一同、ｾﾄﾞﾅｷｬﾋﾟﾀﾙ㈲、全国町村議会議長会、全国ﾎｼｮｳ㈱、全日本小学生ｿﾌﾄﾃﾆｽ実行委員会、禅林寺、第一法規㈱、㈱大栄住器産業、高林板金、地蔵院、千葉県流山市、千葉県流山市議会、㈱中央設計技術研究所、土筆会、土屋医院、㈱ﾃｸﾉﾅｶﾞｲ、㈱東海水源調査管理事務所、東京大森ﾛｰﾀﾘｰｸﾗﾌﾞ、東北新社、飛騨市消防団結優会、富山稲荷郵便局、㈳ﾄﾔﾏｹﾝｶｼｷﾝ、中村歯科、那須烏山市教育委員会学校教育課、㈱ﾅﾝｴｲﾌﾟﾛﾃｯｸ、新潟県三条市、西本願寺、㈱日新観光ｷﾝｸﾞﾌﾟﾗｻﾞ、日本海ｺﾝｻﾙﾀﾝﾄ㈱、日本共産党能登地区委員会、能登町校長会、能登町役場職員組合、㈶能登町ふれあい公社職員一同、能登町ｺﾞﾙﾌ協会、能都ﾛｰﾀﾘｰｸﾗﾌﾞ、ﾊﾐﾝｸﾞﾊﾞｰﾄﾞ、㈲はりきり、東日本建設業保証㈱、東本願寺真宗大谷派、光明寺、日立造船㈱、氷見公民館歩巾歩巾ｸﾗﾌﾞ、姫遊友会、兵庫県たつの市、平田女性ｱﾙﾐ缶の会、ﾌｧﾐﾘｰ劇場、深江母子会、福井県若狭町、富士ｾﾞﾛｯｸｽｻｰﾋﾞｽ㈱中部支店、ふじつか整骨院患者一同、ふる里柳田会事務局、ﾍﾞｼｯｸｴﾝﾀｰﾃｨﾒﾝﾄ㈱、望洋の里、ﾎｰﾑｲﾝｽﾃｯﾄﾞ園田ｽﾃｰｼｮﾝ、㈱北陸環境科学研究所、北國銀行、ﾏﾅｽｸﾘｰﾝ㈱、㈱ﾏﾘﾝ技研ｻｰﾋﾞｽ、丸和電業㈱、三井ｸﾘﾆｯｸ、南砺市四役幹部職員一同、南砺市ｽﾎﾟｰﾂ少年団福野支部指導者一同、宮崎県野尻町、宮崎県野尻町教育委員会、向天方下一組一同、㈱ﾒｯｾｰｼﾞ、千葉県白子町役場設置分、焼鳥川名、山口かんがく院、山古志地域住民一同、山古志地区社会福祉協議会、夢の会、ﾜｲﾙﾄﾞｳｲﾝﾄﾞﾋﾞｯｸﾞﾊﾞﾝﾄﾞ、㈲渡辺板金工業

1秒でも早く、誰よりも速く。

消防魂

消防団訓練大会
6月17日
柳田植物公園

Fire Fighting Spirit

能登町消防団訓練大会結果

【総合】
①三波分団　②高倉分団　③松波分団

【ポンプ車操法】
①松波分団　②三波分団　③秋吉分団

【小型ポンプ操法】
①三波分団　②高倉分団　③岩井戸分団

【小隊訓練】
①柳田分団　②神野分団　③小間生分団

石川県知事表彰

○銀杯を授与する表彰
・河橋　昇（宇出津第1分団・副分団長）
・松谷俊雄（上町分団・部長）
・田端秀雄（不動寺分団・部長）
・干場照夫（岩井戸分団・班長）
・山岸良治（宇出津第2分団・団員）

○永年勤続団員の配偶者等に対する感謝状
久田留美子（宇出津第2分団・久田和義団員の妻）

石川県消防協会長表彰

○優良消防団表彰・柳田分団・秋吉分団

○功労章
・善野栄造（三波分団・分団長）
・菅原圭一（松波分団・分団長）
・上野達二（神野分団・分団長）

○功績章
・大路雅美（柳田分団・分団長）
・坂下静男（小間生分団・分団長）
・田中正悦（小木分団・副分団長）

○勤続功労章
・川端宏二（宇出津第1分団・部長）
・濱野　敏（松波分団・団員）
・北川盛一（白丸分団・団員）
・井上精藏（宇出津第1分団・団員）
・梶　哲朗（白丸分団・団員）
・辻浦芳一（柳田分団・団員）
・山口浩行（岩井戸分団・団員）
・表　勝宏（松波分団・団員）

能登町長表彰

○退職団員感謝状
・清座忠雄（元能登町消防団・副団長）
・川﨑紘靖（元宇出津第1分団・分団長）
・東　久男（元秋吉分団・分団長）
・馬場幸男（元鵜川分団・副分団長）
・川野信雄（元白丸分団・副分団長）
・南山　昇（元小木分団・部長）
・大熊喜好（元宇出津第1分団・部長）
・大黒恵介（元三波分団・班長）
・紺井　勉（元宇出津第2分団・団員）

○消防団雇用事業所感謝状
・梶福設備　梶　俊隆

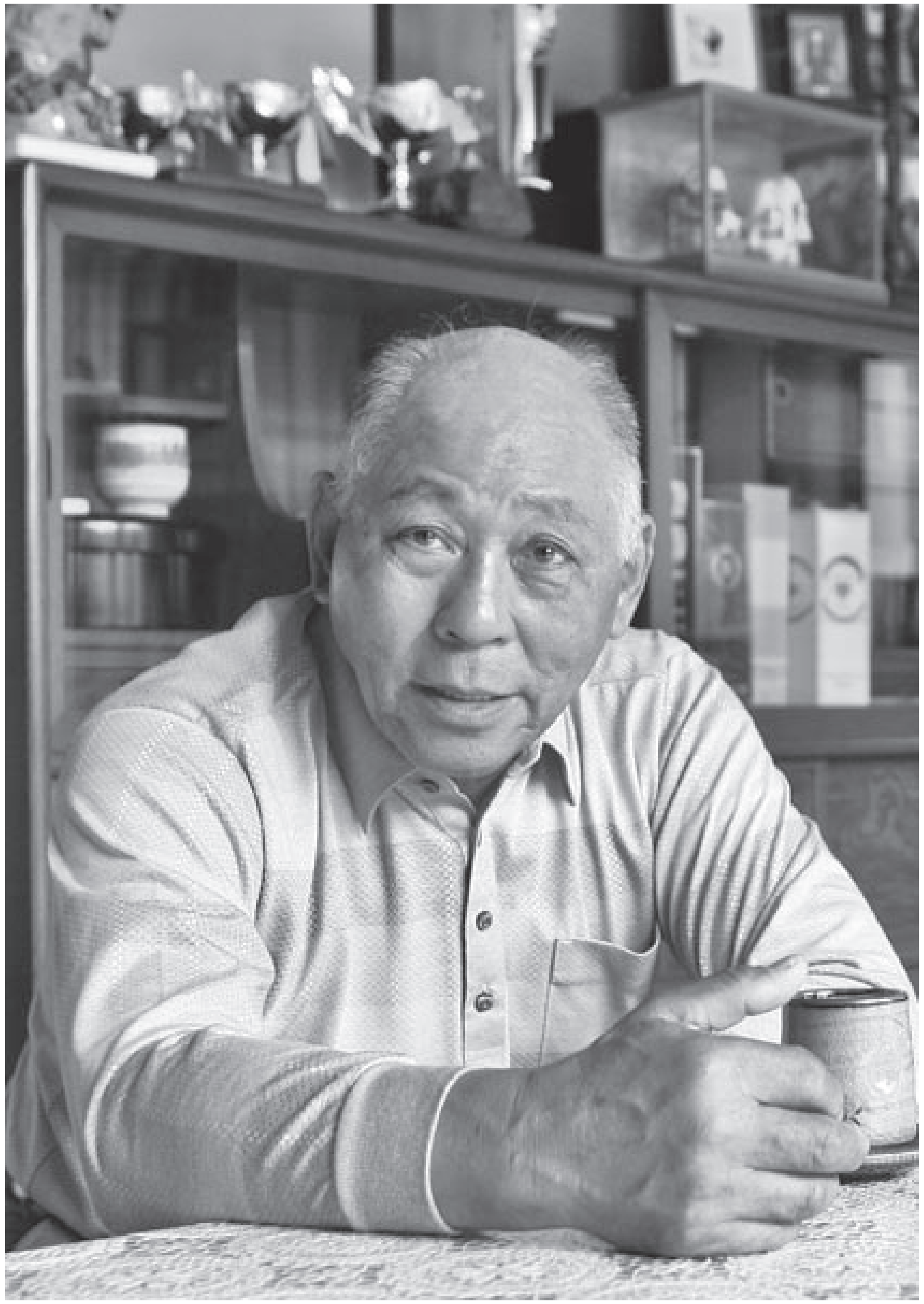
能登町消防団長表彰

○勤続功労章
・井上博友（松波分団・団員）
・鍛治俊輔（柳田分団・団員）
・太田豊和（小木分団・団員）
・桜井聡志（高倉分団・団員）
・高田弘太郎（宇出津第1分団・団員）
・府中昭幸（宇出津第1分団・団員）
・布久保利之（不動寺分団・団員）
・山本智広（鵜川分団・団員）

※26頁に関連記事

シリーズ 人の間に Vol.13

酒造りに向いとったんかな。



「現代の名工」能登杜氏

農口尚彦（のぐちなおひこ）さん（74歳・四方山（よもやま））

16歳で日本酒を志す

日本酒の世界で、その名を知らない人はいないといわれ、そのたぐいまれな技術が高く評価されている能登杜氏が農口尚彦さんだ。

農口さんは、16歳のときに酒造りを志した。杜氏を目指したきっかけは「終戦直後で仕事の選びようがなかった」と振り返るが、先代、先々代と杜氏をしてきたという杜氏の家系も農口さんを日本酒に向かわせたのではないだろうか。

山廃仕込みとの出会い

下積み時代は、父親が杜氏となっていた三重県の酒蔵や、静岡県の酒蔵で修行を積んだという農口さんは、28歳のときに白山市（旧鶴来町）の酒蔵に杜氏として招かれた。しかし最初は思うように売れなかったという。「東海地方はきれいな日本酒。しかし、北陸では働いてから飲む酒、つまり濃い酒が好まれるから」だそうだ。そして、農口さんは濃い酒、味のある酒を求めて、丹波杜氏から山廃仕込みを学んだ。山廃仕込みは昔ながらの酒造りの手法であり、当時、その技術を伝承している杜氏は全国にも数えるほどだったという。

「自分の酒造りは、のどを通ったときに米の味がしっかりすること、そしてのどを通ったあとのキレ。山廃はキレがいい」と話す農口さん。昔ながらの山廃仕込みと飛躍的に進んだ精米技術を組み合わせ、自分が求める酒を造るため研究を重ねた。

全国鑑評会での名声

農口さんは、36年間65歳まで旧鶴来町の酒蔵一筋で、日本酒を造り続けてきた。その間、全国鑑評会で金賞を連続12回、通算で24回受賞。能登杜氏・農口尚彦の名は全国に広まり、「日本一の杜氏」、「山廃仕込みの第一人者」と呼ばれるようになった。そして、山廃仕込吟醸酒を東京で初めて売り出し、吟醸酒ブームを作り出したのだ。

「うまい酒を造ればお客さんは買ってくれる」と考えていた蔵元（酒造会社）は、農口さんを全面的に信頼し、農口さんもその期待に応えようと完全燃焼した結果だった。

現代の名工

65歳で定年退職した農口さんは、ここで酒造りを辞めるつもりだった。「父親は、自分が説得して65歳で引退させた。自分も杜氏は65歳までと決めていた」という。しかし、杜氏としては「脂がのっている」時期でもあり、熱心に頼まれた加賀市の蔵元に行くことにした。もともとチャレンジ精神が旺盛な農口さん。「この会社が最後。自分の酒を喜んでくれるお客さんに、うまい酒を造ることでお返ししたい」との決断だった。

そして昨年11月「職人にとって最高の栄誉」といわれる「現代の名工」に選ばれ、卓越技能章を受章した。「これはお客さんからもらった勲章やと思っている」と話す農口さん。

「酒造りに向いとったんかな」。

その技術は、もはや芸術であり文化でもあると評価される74歳の名杜氏の、酒造りの日々はまだ終わらない。

加賀市の蔵元で７人の蔵人に囲まれる農口さん

こうみんかんつうしん

不動寺公民館 編

―公民館通信―
第1号

「木郎（もくろう）の郷」「水車の里」
この地区には
そんな呼び方があります。
木郎の人々が集う
不動寺公民館を
紹介します。

不動寺と言えばこんな活動

昭和47年に建てられた現在の不動寺公民館。ここでは文化やスポーツ活動の拠点として、地域に根ざした行事が年間を通じて行われています。

郷土の自然を守り育てる緑の少年団活動や、郷土料理・太鼓の伝承教室。春に農村公園のグラウンドで行われる9人制バレーボール大会や、今年第102回目を数える秋の社会体育大会にも、各町内からたくさんの参加者が集まります。

2月には、地域のボランティア精神に支えられ、公民館活動の総まとめである「公民館祭り」が盛大に開催されます。各サークルの作品展示や伝統芸能などが披露され、会場となる体育館は毎年おおいに盛り上がります。

いろんな人が集います

公民館は生涯学習の場を提供するという大切な役割を持っています。また、多種多様なグループ・サークルが数多く集まり利用しています。毎月行われる趣味の講座に加え、子ども会を対象にしたバス研修や、食改のみなさんによる、一人暮らしを励ます弁当作りや料理教室、美しいホタルが飛び交う清流を守る活動などさまざまな活動があります。また、旧不動寺小学校の木造校舎を利用した木郎活性塾では、年に2回のサークル作品展や音楽会も開かれます。

このほか、テーマに合わせた内容で毎月進めていく学級もあります。今年は地区のシンボルでもある水車小屋や町指定文化財の末次城址に親しみ、郷土愛を育む「グリーンハウス学級」と、手芸や木工など新しい趣味との出会いを作る「女性ニコニコ学級」が開催されています。

毎年6月に活性塾で行われる作品展では古い農具を使った生け花が会場を彩ります

能登町立不動寺公民館

字不動寺 8-200-1　☎・FAX 72-0059
■地区世帯数 223　■人口 644

高齢者でも参加しやすいようにと企画された社会体育大会のプログラム「縄ない競争」。お年寄りの手馴れた作業をみんなで見守ります

30年以上続く不動寺地区伝統の町内対抗バレーボール大会は屋外でプレーします

不動寺公民館で毎月楽しめる教室

教室名	開催日	時間
生け花教室	毎月 第3木曜日	19:30
川柳教室	毎月 15 日	13:30
書道教室（通信）	毎月 第2・4金曜日	13:30
日舞教室	毎週 水曜日	13:30
		19:30
ちょんがり研究会	毎月 第2・4土曜日	19:00

水車のまわる木郎の郷

不動寺地区のシンボルとして平成10年7月に行延地区に誕生した茅葺き屋根の水車小屋。当時、不動寺公民館を中心として地元の有志が集まり、完成にこぎつけました。その後も一部屋根を葺き替え、ひとまわり大きな水車を設置するなど、現在もボランティアによる保存活動が続けられています。

昔ながらの伝統を大切に守りながら新しいものを創り出してきた「木郎の郷」。これまでも、そしてこれからも不動寺公民館は、この地に暮らし故郷を愛するみなさんと一緒に歩き続けていきます。

6月
まちの出来事
Vol.1

中型イカ釣船団出港

スルメイカを求めて、いざ日本海へ！

出港直前には、見送りに訪れた家族、友人らに色とりどりの紙テープが手渡され、船につながれます

出港に先立つ5月29日、小木小学校児童らがイカ釣船の船内を見学しました

水産の町・能登町を支える「冷凍スルメイカ漁」。6月2日と5日には、小木、姫、宇出津のイカ釣船26隻が、それぞれの港から出港しました。このうち20隻が所属する小木港は、水揚げ高において函館、八戸に並ぶ日本3大水揚港のひとつに数えられています。港には、出港を控えたイカ釣船を見送ろうと家族や友人などが集まり、乗組員に励ましの言葉をかけていました。午前9時ごろから、大漁旗を掲げたイカ釣船が次々と出港し、12月末ごろまで操業される日本海へ向かいました。

町では、インドネシアから漁業研修生を6年前から受け入れており、今年も研修生93人が船に乗り込んで、実際の漁を通じて漁業を学ぶということです。

大漁旗をなびかせ次々と出港するイカ釣船

プロムナードコンサート

年に一度の音楽の集い

能登町内の音楽愛好家が集うコンサート「プロムナードコンサート」が5月27日に能都庁舎で開催されました。今年で28回目を迎えたこのコンサートには、バンドやコーラス、ブラスバンドなど8組が出演し、さまざまなジャンルの音楽を披露しました。

コンサート最後の恒例となっている合唱では、出演者、観客がひとつになって「翼をください」を歌いました。ステージ、観客席の約400人がひとつになって響かせるハーモニーは、音楽のすばらしさを改めて教えてくれました。

3曲を披露したママさんコーラス「宇出津しおさい」のみなさん

力を合わせて大きなごみを運ぶ参加者

クリーンビーチいしかわ

きれいな海岸線を守る

石川県のきれいな海岸線を守ろうと、県下一斉に開催されるキャンペーン「クリーンビーチいしかわ」が5月27日に行われ、能登町では、羽根海岸、五色ヶ浜海水浴場、恋路海岸の3カ所で実施されました。

各海岸では、早朝から地域の人やボランティアなど約340人が海藻や漂着物などのごみを次々と運んで1時間ほどできれいな海岸線を取り戻していました。今年で13回目を迎えたこのキャンペーン。たくさんの人の努力で、きれいな海岸線が保たれていることを忘れないでください。

行政相談員退職者感謝状伝達式

町民との架け橋として

より良い行政運営のために活動する行政相談員を長年にわたり務めた方に対する感謝状の伝達式が、5月28日に能都庁舎で行われました。感謝状を受けたのは五十里の重木幸長さんと小木の芳野洋子さんの二人です。

総務省からの委嘱を受け、重木さんは8期16年、芳野さんは4期7年9カ月という長きにわたり尽力されました。その功績に対し石川行政評価事務所の国友次長から感謝状が手渡されました。町民の身近な相談相手として地道な活動を続けてきた重木さんと芳野さん。本当にお疲れさまでした。

「無事任務を終えて安心した」と語った重木さん（左）

檻の中で死を待つ犬の写真など80点が展示されました

児玉小枝写真展「ラストポートレート」

捨てないで 迷子にしないで

飼い主に見守られながら最期を迎える犬や、保健所に収容された動物の写真を撮り続けている写真家児玉小枝さん。その写真展が5月27日に内浦福祉センターで開催され、責任あるペットの飼い方を訴える写真や資料が多数展示されました。

一昨年県内で殺処分された犬猫は2,000匹あまり。残酷な運命をたどる動物たちの現状を知った来場者の1人は「人間の身勝手さを感じた」と、飼い主のマナーについて改めて考えていました。写真展を主催した宮谷内義光さん（恋路）は「今後も動物愛護啓発活動を続けていきたい」と話していました。

6月

まちの出来事 Vol.2

スポ少能都支部・福野支部交流

スポーツを通して育む友情と友好

▶全体交流会で行われたキックベースボールでは、珍プレー、好プレーが続出していました

▲最後は能都支部全員でアーチを作り、お別れしました

毎年交互に受け入れしているスポーツ少年団能都支部と富山県南砺市福野支部との交流会が5月26日・27日に行われました。26日には藤波のスポーツピアッツァで対面式が行われ、団員や指導者などおよそ300人が集まりました。翌27日には全体交流会としてキックベースボールが行われ、団員たちは爽やかな汗を流して友情を深めていました。

最後のお別れ式では能都支部の清水寛生くん（鵜川小6年）が「楽しい思い出を友だちに教えてスポーツ少年団の輪を広げましょう」とあいさつし、来年の富山県での再会を約束しました。

日米草の根サミット

日本とアメリカ草の根の交流

能登の各地で交流を図る日米草の根交流サミットが6月7日から11日までの日程で開幕し、10人のアメリカ人が能登町を訪問しました。8日には、大箱の室谷一柊さん宅を訪れ、そば打ちの見学や書道などを楽しみました。また、期間中は公民館行事に参加したり太鼓の演舞を体験するなど、日本の伝統文化に触れたくさんの人々と交流しました。

11日には能都庁舎でお別れ式が行われ、参加者を代表してロバート・ジェットさんが「わたしたちのためにたくさんの努力をしてくれたのが分かりました」と感謝の言葉を述べました。最後はホストファミリーがバスに乗り込み帰路につく参加者を、名残惜しそうにいつまでも見送っていました。

▲抒情書家・室谷一柊さんの指導を受け、書道に挑戦する参加者

▶能都庁舎での記念撮影

県下一斉施錠キャンペーン

鍵かけが防犯のカギ！

天坂地内で6月9日、能登警察署と能登防犯協会が「鍵かけ啓発活動」を行い、駐車車両と留守宅の鍵かけなどを呼びかけました。平成18年に県内で発生した空き巣の66%、車上狙いの50%は、鍵をかけていない車や留守宅が被害に遭っています。被害を未然に防ぐよう、啓発チラシやティッシュをドライバーに手渡しながら施錠の重要さを伝えました。

木谷生活安全刑事課長は「施錠があたりまえの習慣となり、犯罪が減少することを期待します」と話していました。少しの時間でもしっかり鍵をかけるよう心がけましょう。

ドライバーにチラシを配る能登警察署員

交差点で自転車のルールを学ぶ児童

松波小学校交通安全教室

絶対事故に遭いません！

5月30日、松波小学校のＰＴＡ行事として、1年生から4年生を対象とした交通安全教室と5・6年生を対象とした防犯教室が開催されました。能登警察署の署員を講師として、1・2年生はグラウンドの模擬交差点を利用して横断歩道の渡り方、3・4年生は自転車の正しい乗り方について、5・6年生は連れ去りや変質者への対応などについて学びました。

山本ＰＴＡ会長は、児童たちに「今日学んだことを、明日からちゃんと実践してください」と呼びかけ、児童たちも真剣に交通ルールを学んでいました。

北陸漕艇大会

心をひとつにオールを漕ぐ

第35回北陸漕艇大会が6月15日に宇出津港を会場に開催され、富山、新潟、福井、石川の海洋科や水産科を有する6校、8チームが出場して漕艇技術を競いました。競技は、カッターボートに漕ぎ手など14人が乗り込み、ブイまでの往復1,000mのタイムを競います。地元北辰高校からも2チームが参加し、予選レースに挑みました。

予選を3位で通過した北辰高校Ａチームは、3位決定レースで惜しくも敗れたものの、地元の人や普通科の生徒たちから大きな声援を受け、息を合わせてオールを漕いでいました。

力を込めてオールを漕ぐ北辰高校Ａチーム

慎重にヤマメを放流するおおとり会のメンバー

能都ＲＣ・おおとり会ヤマメ放流

ヤマメが育つ環境を守りたい

5月30日、能都地区を流れる河川で、能都ロータリークラブの会員約20人と社会福祉法人おおとり会のメンバー30人がヤマメの稚魚5,000匹を放流しました。

放流した稚魚は体長5㎝くらいのものです。クラブが主催するこのヤマメ放流は今年で通算22回目となり、今回初めておおとり会を招き行われました。バケツに入った稚魚をゆっくりと川へ放し、元気に泳いでいく姿を見た参加者からは笑顔もこぼれていました。ヤマメの住めるきれいな自然を守り、未来へと残していきたいものです。